

【オープンから半年】  
これまでと未来の話



## この日の活動

### 「野菜の収穫と木工作业—marugo-toブロックづくり」



この日収穫した野菜は「菜っ葉」「白菜」「長ネギ」「ほうれん草」。収穫する野菜の種類を通して、四季が感じられる。



製品化されたmarugo-toブロックの在庫も少なく、この日も木材のカットからブロックの磨き作業まで取り組む。

## オープンしての半年を振り返る 「運営するメンバーに話を聞きました」

### —オープンしてからの半年を振り返ってみて—

あっという間に半年経っていたという感じで、今に至っている。まずは、夏を無事に乗り越えられたことが一つ大きい。みなさん(周りの関係者の方)から心配もいただいていたが、開催時間の変更(午前開催ではなく夕方開催)をするなど、柔軟に運営が出来たことで、夏でも開催できる工夫や経験ができた。

この半年間の活動を通して、色々なつながりやネットワークができたことが一つの財産。今まで接点がないような方とも、この場所を通じて知り合えることができた。

#### 【話を聞いた人】

marugo-to代表 岩崎 氏、西蒲区社協職員

### 一次の半年に向けて—

次は無事に冬を乗り切ることが一つの目標。夏を経験するのも初めてだったが、冬を経験するのも初めてのことになる。冬を乗り越え、オープン1周年を迎える時には一年の運営の流れを掴むことができる。

今後は新しい野菜の品種の栽培(まこも茸)を田んぼをフィールドにして考えている。

## 編集後記

marugo-toがオープンして半年。ビニールハウスを活用した新しい居場所の形は進化を続けている。これから冬の経験を重ねることで、課題の発見と解決を繰り返し、次の段階へ進む。

